

○今後検討する事業にかかる進捗状況について

(1) 戦略 1 産業の営みをつなぐ（圏域全体の経済成長のけん引）

ア 産学金官民一体となった経済戦略の策定，国の成長戦略実施のための体制整備

見込まれる成果 ・戦略産業の育成等，経済成長のけん引を支える人材が育成され，圏域内の企業が求める人材の確保が進むと見込まれる。

成果指標（KPI）	現状値	目標値 （平成 32 年度）	出所・出典
圏域内事業所従業者数（↑）	175,161 人 （平成 24 年度）	184,000 人	経済産業省 「経済センサス」

○今後検討する事業【都市圏ビジョン P.59】

No.	48	事業名	中核人材の育成に向けた検討
関係市町名	8 市町		
事業概要	企業の中核を担う人材や企業の後継者の育成方策について検討を行う。		
見込まれる成果	共通の地域課題であり，広域全体で取り組むことにより事業効率を高めることができる。		
28 年度 検討状況	平成 28 年度は都市圏ビジョンの「実施を計画する事業」の検討のみを実施し，「今後検討する事業」についての検討は未実施。		
29 年度予算 及び計画	中核人材の育成に向けた検討 0 円 事業の実施の可否について広域市町で検討を行う。		

イ 産業クラスターの形成, イノベーション実現, 新規創業支援, 地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

見込まれる効果

・圏域内の人や企業の連携が強化されることにより、圏域の強みを生かした戦略産業が育成され、圏域内の経済循環の促進及び関連産業における付加価値の向上が見込まれる。

成果指標 (KPI)	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
創業支援計画における新規 創業者延べ数 (↑)	-	900 件	8 市町 「創業支援計画」

○今後検討する事業【都市圏ビジョン P. 62】

No,	49	事業名	(仮称)食産業連携強化事業の実施の検討
関係市町名	8 市町		
事業概要	圏域の農業生産者及び商工業者や飲食店関係者等, 食産業に関わる事業者を対象とした, 事業マッチングのためのセミナー等を開催する。		
見込まれる 成果	圏域内の農業以外の業種が個々に持っている経営に関する情報などを共有することで, さらなる産業の活性化につながる。		
28 年度 検討状況	盛岡広域首長懇談会 食農推進協議会の取組として実施。 1 市町間, 異業種間での情報交換 2 共同での販売促進, 地産地消の広域展開 3 6 次産業化支援の検討 4 広域圏域ブランドづくりの検討		
29 年度予算 及び計画	盛岡広域首長懇談会 食農推進協議会の取組として実施する。 1 現地研修・視察などの実施 2 6 次産業化, 地産地消, 圏域ブランドづくりの検討 3 他機関・団体との連携の検討		

No,	50	事業名	クリエイティブ産業の育成
関係市町名	8 市町		
事業概要	クリエイティブ産業と他分野の連携により, 新たな価値の創造やニーズの発掘につながる新規性・独創性のあるプロジェクトを支援する。		
見込まれる 成果	クリエイティブ産業の育成支援の対象を広域圏に拡大することで, 企業同士の良好なマッチングの可能性が拡大し, より効果的な協業体制の構築等を期待できる。		
28 年度 検討状況	平成 28 年度は都市圏ビジョンの「実施を計画する事業」の検討のみを実施し, 「今後検討する事業」についての検討は未実施。		
29 年度予算 及び計画	クリエイティブ産業の育成の検討 0 円 広域圏でのクリエイティブ産業育成の効果, 必要性について広域市町で検討を行う。		

No,	51	事業名	産業振興組織の共同設置の検討
関係市町名	8市町		
事業概要	圏域企業の新分野進出支援や起業家支援，産業間交流などの産業振興に係る事業を行う組織を圏域で共同設置することについての検討を行う。		
見込まれる成果	広域で組成することにより，広域圏内企業の窓口の一本化が図られる。		
28年度検討状況	平成28年度は都市圏ビジョンの「実施を計画する事業」の検討のみを実施し，「今後検討する事業」についての検討は未実施。		
29年度予算及び計画	産業振興組織の共同設置の検討 0円 広域圏で産業振興を実施する組織の効果，必要性について広域市町で検討を行う。		

No,	52	事業名	盛岡広域圏「ぐるっとグリーンツーリズム」の検討
関係市町名	8市町		
事業概要	これまでの市町村単位の農家民泊を主体としたグリーンツーリズムではなく，各市町の特色ある農業体験を組み合わせたグリーンツーリズム事業の構築を検討する。		
見込まれる成果	研修セミナー等で得た県域内の各種情報を発信することにより，新たな各市町の情報共有及び魅力発信につながる。		
28年度検討状況	盛岡広域首長懇談会 食農推進協議会の取組として検討。 広域振興局との連携や，農業関係機関・団体で構成される「盛岡地方農業農村振興協議会」など他機関・他団体との連携について検討するなかで，グリーンツーリズム事業を検討することとした。		
29年度予算及び計画	盛岡広域首長懇談会 食農推進協議会の取組として実施する。 ○盛岡地方農業農村振興協議会 農村活性化部会等との連携の検討（グリーン・ツーリズム活動活性化事業等への参加など） ○産地訪問ツアーへの参加 ○「もりおかマチナカ商談会」と「もりおか広域地域の食 de 交流マルシェ」への参加		

No,	53	事業名	地域ICT活用事業
関係市町名	8市町		
事業概要	農林業・医療・介護などの地域課題解決のためICTの活用方策について，調査・研究を行う。		
見込まれる成果	地域課題をICT活用によって解決し，地域活性化を行うにあたり，広域で取組むことによって，多様なIT企業との共同研究が可能となる。		
28年度検討状況	平成28年度は都市圏ビジョンの「実施を計画する事業」の検討のみを実施し，「今後検討する事業」についての検討は未実施。		
29年度予算及び計画	地域ICT活用事業の検討 0円 広域圏でのICT活用事業の調査研究について広域市町で検討を行う。		

No,	54	事業名	再生可能エネルギーの利用促進
関係市町名	8市町		
事業概要	再生可能エネルギーを利用して発電した電力を圏域内で消費する事業スキームを構築する。		
見込まれる成果	広域圏のスケールメリットを活かした事業の展開や各市町でのエネルギー施策を参考とした新たな取組等が期待できる。		
28年度検討状況	盛岡広域首長懇談会専門部会設置の検討 0円 再生可能エネルギーに関する専門部会の設置について、平成29年1月に関係市町に意向を確認したところ、一部の市町から賛意を得られず、専門部会の設置は断念した。		
29年度予算及び計画	エネルギー地産地消に向けた売電切替工事の実施 890,000円 エネルギー地産地消に向けて盛岡市クリーンセンターと中央卸売市場メガソーラーの売電先を新電力会社に切り替えるもの。盛岡市単独で実施した上で、他市町との連携を検討する。 再生可能エネルギーに関しては、各市町で取り組み状況に違いがあり、広域圏での実施が難しいことから、当面は情報交換と広域圏で事業スキームの検討となる。		

No,	55	事業名	新規就農者への支援
関係市町名	8市町		
事業概要	新規就農者等の掘り起こしや支援を行う。		
見込まれる成果	広域圏内で連携した就農支援情報を発信することにより、新たな魅力発信につながり、新規就農者の拡大が図られる。		
28年度検討状況	各市町の制度に相違があり、調整に課題がある。 また、普及センターのデータベース活用を検討したが、個人情報のため、情報共有不可能との回答が普及センターからあった。		
29年度予算及び計画	「後継者問題」を含めて、圏域内の意見交換を検討する。		

ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

見込まれる成果

- ・各市町の地域資源の発信力が強化される。
- ・圏域内の地域資源の連携を強化することにより新たな技術開発や産品等の創出が図られ、圏域内の経済循環の促進及び関連産業における付加価値の向上が見込まれる。

成果指標 (KPI)	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
圏域内における製造業の一人当たり付加価値額 (↑)	6,173 千円 (平成 24 年度)	6,482 千円	経済産業省「工業統計調査」

○今後検討する事業【都市圏ビジョン P. 66】

No,	56	事業名	製麺工業と農業の連携の促進についての検討
関係市町名	8 市町		
事業概要	圏域において麺類の消費量が多いことから、多くを輸入に頼っている小麦原料の域内調達率を向上させる方策等について研究する。		
見込まれる成果	圏域全体で実施することで生産量の確保と地場産品の振興が見込まれる。		
28 年度検討状況	平成 28 年度は都市圏ビジョンの「実施を計画する事業」の検討のみを実施し、「今後検討する事業」についての検討は未実施。		
29 年度予算及び計画	製麺工業と農業の連携の促進についての検討 0 円 小麦原料の域内調達率を向上させる方策等の研究について広域市町で検討を行う。		

No,	57	事業名	清酒とコメの連携の促進についての検討
関係市町名	8 市町		
事業概要	圏域での消費量が多く、移輸出にも期待ができる清酒について、多くを移入に頼っているコメの域内調達率を向上させる方策等について研究する。		
見込まれる成果	圏域全体で実施することで生産量の確保と地場産品の振興が見込まれる。		
28 年度検討状況	平成 28 年度は都市圏ビジョンの「実施を計画する事業」の検討のみを実施し、「今後検討する事業」についての検討は未実施。		
29 年度予算及び計画	清酒とコメの連携促進についての検討 0 円 コメの域内調達率を向上させる方策等の研究について広域市町で検討を行う。		

No,	58	事業名	産業博覧会の開催の検討
関係市町名	8市町		
事業概要	圏域の産業の活性化に向け、企業が自社製品及び技術をアピールする機会としての「産業博覧会」の開催について調査・研究を行う。		
見込まれる成果	圏域地場産業の振興及び経済の活性化が見込まれる。		
28年度検討状況	平成28年度は都市圏ビジョンの「実施を計画する事業」の検討のみを実施し、「今後検討する事業」についての検討は未実施。		
29年度予算及び計画	産業博覧会開催の事業化の可否についての検討 0円 住民へのアピールとしては期待できるが、産業振興を考えた場合、新たな市場の開拓、販路の拡大が期待できなければ実施効果が小さいと考えられ、商談先（バイヤー）の招聘が大きな課題であるとともに、費用対効果を十分に検討し事業化の可否について検討する。		

No,	59	事業名	手づくり村リニューアル事業
関係市町名	8市町		
事業概要	（公財）盛岡地域地場産業振興センターの建物・設備及び展示をリニューアルすることで、地場産業の振興拠点としての機能強化を図る。また、盛岡広域で受け継がれている、南部鉄器や漆器、染物、駄菓子などの伝統の技や味を後世に伝えるための「（仮称）伝統技術継承工房」を設置し、盛岡地域の貴重な財産である伝統技術を継承する拠点とする。		
見込まれる成果	盛岡手づくり村が盛岡広域の地場産業の拠点であることが再認識され、地域経済の活性化が見込まれる。		
28年度検討状況	平成28年度は都市圏ビジョンの「実施を計画する事業」の検討のみを実施し、「今後検討する事業」についての検討は未実施。		
29年度予算及び計画	手づくり村リニューアル事業についての検討 0円 「（仮称）伝統技術継承工房」を含めた盛岡地域地場産業振興センターのリニューアルの事業化の可否について検討する。		

エ 戦略的な観光施策

見込まれる成果

- ・各市町の観光資源の発信力が強化される。
- ・訪日外国人等新たな観光客の開拓につながり、交流人口の増加が見込まれる。

成果指標 (KPI)	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
圏域内観光客入込数 (↑)	1,028 万人回 (平成 26 年度)	1,079 万人回	県政策地域部 「統計年鑑」

○今後検討する事業【都市圏ビジョン P.71】

No,	60	事業名	ニューツーリズムの振興
関係市町名	8 市町		
事業概要	スポーツ、環境、健康、産業など特定のテーマと観光を組み合わせたニューツーリズムについて、モデルコース紹介や誘致活動を行う。		
見込まれる成果	圏域で連携することにより、広域観光の効果的な推進が図られる。		
28 年度 検討状況	体験プログラムの調査研究 0 円 盛岡広域 8 市町を含む 12 市町で構成する盛岡・八幡平広域観光推進協議会において、ニューツーリズムを中心とした体験プログラムの開発に向け、各市町の既存の体験プログラムなど、現状調査を実施した。		
29 年度予算 及び計画	体験プログラムの調査研究 0 円 平成 29 年 3 月 28 日に設立された広域連携組織の盛岡広域スポーツコミッションにおける取組との連携のほか、各市町の既存の体験プログラムを活用した滞在周遊の促進に向けた連携について調査研究を進める。		

No,	61	事業名	エコツーリズムの振興に向けた検討
関係市町名	8 市町		
事業概要	再生可能エネルギー施設の視察・見学などのエコツーリズムの振興について調査・研究を行う。		
見込まれる成果	再生可能エネルギー施設を多様化させることにより、視察者や見学者のニーズに合わせたエコツーリズムを実施することができる。		
28 年度 検討状況	盛岡広域首長懇談会専門部会設置の検討 0 円 再生可能エネルギーに関する専門部会の設置について、平成 29 年 1 月に関係市町に意向を確認したところ、一部の市町から賛意を得られず、専門部会の設置は見送った。		
29 年度予算 及び計画	広域対応に向けた事業スキームの検討 0 円 引き続き、広域圏での取り組みに向けた協議、調整を行う。		

No,	62	事業名	2次交通体系の整備
関係市町名	8市町		
事業概要	公共交通拠点を起点とした圏域市町を結ぶ2次交通の整備に向けた取組やサービス向上の仕組みづくりを行う。		
見込まれる成果	圏域で連携することにより、広域観光の効果的な推進が図られる。		
28年度 検討状況	2次交通に関する調査研究 0円 盛岡広域8市町を含む12市町で構成する盛岡・八幡平広域観光推進協議会で企画・実施したファムツアーを通じ、圏域内の観光事業関係者や旅行事業関係者等と連携し、圏域内での滞在・周遊につなげる旅行商品の開発と併せ、圏域市町をつなぐ2次交通に関する調査研究を行った。		
29年度予算 及び計画	2次交通に関する調査研究 0円 観光事業関係者や旅行事業関係者等と連携し、引き続き、圏域内での滞在・周遊につなげる旅行商品の開発と併せ、圏域市町をつなぐ2次交通に関する調査研究を進める。		

No,	63	事業名	日帰り客の創出（滞在時間の延長）に向けた検討
関係市町名	8市町		
事業概要	圏域内の住民の行楽等による近隣地域への訪問の促進方策等について調査・研究を行う。		
見込まれる成果	圏域で連携することにより、広域観光の効果的な推進が図られる。		
28年度 検討状況	2次交通に関する調査研究 0円 盛岡広域8市町を含む12市町で構成する盛岡・八幡平広域観光推進協議会で企画・実施したファムツアーを通じ、圏域内の観光事業関係者や旅行事業関係者等と連携し、圏域内での滞在・周遊につなげる旅行商品の開発と併せ、圏域市町をつなぐ2次交通に関する調査研究を行った。		
29年度予算 及び計画	2次交通に関する調査研究 0円 観光事業関係者や旅行事業関係者等と連携し、引き続き、圏域内での滞在・周遊につなげる旅行商品の開発と併せ、圏域市町をつなぐ2次交通に関する調査研究を進める。		

(2) 戦略2 人の流れをつなぐ（高次の都市機能の集積・強化）

ア 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

見込まれる成果

・圏域内外の公共交通拠点の整備を進め、バス路線の維持・確保を図ることにより、住民生活における移動の利便性の向上、圏域外との交流人口の増加が見込まれる。

成果指標（KPI）	現状値	目標値 （平成32年度）	出所・出典
広域バス路線数（→）	86路線	86路線	盛岡市

○今後検討する事業【都市圏ビジョンP.72】

No.	64	事業名	（仮称）複合交通センター基本計画策定事業
関係市町名	8市町		
事業概要	盛岡駅西口地区の（仮称）複合交通センター用地を圏域内外の交通アクセス拠点として整備するために、必要な施設・規模等についての調査・研究を踏まえ、構想を策定する。		
見込まれる成果	利便性の高め交通結節点としての機能を強化することにより、圏域全体のアクセス性の向上が図られる。		
28年度 検討状況	交通アクセス拠点として既存施設とともに利便性向上に向けた利用形態の検討 0円 盛岡バスセンター再整備及び駅周辺のバス発着再編に関連して、バス事業者等との協議を行った。また、一部の敷地については既設交通広場の補完施設として暫定（平面）利用を開始した。		
29年度予算 及び計画	交通アクセス拠点として既存施設とともに利便性向上に向けた利用形態の検討 0円 暫定利用とバス発着再編の状況を踏まえ、アクセス需要等についてバス事業者を始めとする関係団体等との協議、検討を行う。		

(3) 戦略3 暮らしの安心をつなぐ（圏域全体の生活関連機能サービスの向上）

ア 生活機能の強化に係る政策分野

(カ) 災害対策

見込まれる成果

・圏域全体として災害への対応が強化されることにより、各市町における住民生活の安心の向上につながる。

成果指標（KPI）	現状値	目標値 （平成32年度）	出所・出典
災害用非常食糧の備蓄数 （↑）	38,240食 （平成29年3月末）	87,000食	8市町
南岩手山岳遭難隊員の訓練 受講者数（→）	50人 （平成27年度）	50人/年	南岩手山岳遭難対策委員会事務局

○今後検討する事業【都市圏ビジョンP.86】

No.	65	事業名	もりおか復興支援センター運営事業
関係市町名	8市町		
事業概要	東日本大震災により被災し内陸に避難されている方々の生活再建を支援する拠点施設である「もりおか復興支援センター」の運営。		
見込まれる成果	もりおか復興支援センターを圏域の避難者支援の中核施設に位置付け、避難者の生活情報等を集約することにより、多様化する生活再建に係る支援情報や各種相談業務サービスなどの充実・向上が図られる。		
28年度検討状況	復興推進事業の指針となる「東日本大震災に係る盛岡市復興推進の取組方針」を平成30年度まで2年延長した。当方針に基づき、平成29年度から平成30年度までこれまでの事業を継続して実施する。同時に、平成30年度以降の事業内容について検討し、事業実施の可否について判断する。		
29年度予算及び計画	平成30年度以降の事業内容について検討し、事業実施の可否について判断をする。 暫定利用とバス発着再編の状況を踏まえ、アクセス需要等についてバス事業者を始めとする関係団体等との協議、検討を行う。		

イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(7) 道路等の交通インフラの整備・維持

見込まれる成果

・幹線道路の整備が進むことにより、地域間交流や公共交通の利用促進等、地域間のネットワークの強化につながる。

成果指標 (KPI)	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
整備予定区間のうち供用できた延長割合 (↑)	0% (平成 28 年度)	100%	盛岡市

○今後検討する事業【都市圏ビジョン P. 89】

No.	66	事業名	圏域の連携強化につながる国・県道の整備促進
関係市町名	8 市町		
事業概要	高次救急医療や地域間交流、産業振興、防災などのネットワーク強化を図るため、国道や主要な県道の整備促進について、国をはじめとする関係機関等への要望活動などを行う。		
見込まれる成果	渋滞がなく効率的な都市圏道路ネットワークの形成		
28 年度 検討状況	一般国道 46 号「盛岡西バイパス」の 2 車線区間の 4 車線化整備及び主要地方道上米内湯沢線以南への南進について 0 円 平成 29 年度の国・県予算に対する統一要望で平成 28 年 7 月 13 日 (水) に関係省庁や県選出国會議員への要望を行った。		
29 年度予算 及び計画	一般国道 46 号「盛岡西バイパス」の 2 車線区間の 4 車線化整備及び主要地方道上米内湯沢線以南への南進について 0 円 平成 30 年度の国・県予算に対する統一要望で平成 29 年 7 月上旬から中旬に関係省庁や県選出国會議員への要望を行う。		

(イ) 地域内外の住民との交流・移住促進

見込まれる成果

- ・移住・定住の候補地としての各市町の発信力が強化される。
- ・圏域外との人的交流の機会がこれまでよりも増加し、人口の増や産業振興、地域づくり等を担う新たな人材の確保につながる。

成果指標 (KPI)	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
インターンシップへの参加 事業者数 (↑)	64 企業 (平成 28 年度)	90 企業	8 市町

○今後検討する事業【都市圏ビジョン P. 90】

No.	67	事業名	U I J ターン就職支援事業
関係市町名	8 市町		
事業概要	県外在住の若者等を盛岡広域圏での就職に導くために、地元企業の情報発信力及び採用力の強化を図る。		
見込まれる成果	U I J ターンを検討している方や就職を控える若者及びその家族等に対する地元企業の訴求力を高めることにより、地元就職率の向上が見込まれる。		
28 年度 検討状況	<p>地方創生推進交付金を活用し、地元企業に対して次の支援を行った。</p> <p>事業費 900 万円 (うち、交付金 450 万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求職者に向けた情報発信ツール製作の伴走的支援の実施 (市内 17 社、矢巾町 1 社、八幡平市 1 社、滝沢市 1 社) ・企業の採用力向上に資する企業向け研修会の実施 (市内企業 10 社) <p>本事業は、その事業成果に基づきモデル事例を構築し、地元企業に広く波及させることにより、企業の情報発信力の底上げを図ることを目的に実施しているものであるが、広域市町の連携による取組は、平成 30 年度以降を想定している。</p>		
29 年度予算 及び計画	<p>平成 28 年度と同様の取組を継続するとともに、事業による支援を受けた企業等と連携しながらモデル事例を構築する。</p> <p>事業費 900 万円 (うち、交付金 450 万円)</p> <p>平成 30 年度以降の広域市町の連携による取組に向け、本事業の内容について、関係市町との情報共有を図る。</p>		

No,	68	事業名	盛岡広域定住促進事業
関係市町名	8市町		
事業概要	盛岡広域圏における移住・定住パンフレットの作成など多様な媒体を活用した情報提供や，相談員の配置などを行う。		
見込まれる成果	盛岡広域圏への若年層の移住・定住者の増加		
28年度 検討状況	検討事業の具現化に向けた検討 0円 事業概要の見直しなど，8市町の首長懇談会において専門部会を設置するための事務を実施した。		
29年度予算 及び計画	検討事業の具現化に向けた検討と構成市町との合意形成 0円 首長懇談会に地方創生部会を新たに設置し，各市町と課題や分析の情報共有，自治体独自の取組との整合を検討しつつ，広域圏として具現化の可能性を検討する。		